

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ひよこすぼーつ塾		
○保護者評価実施期間	令和7年 1月 4日		～ 令和7年 1月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	17	(回答者数) 16
○従業者評価実施期間	令和7年 1月 4日		～ 令和7年 1月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数) 9
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 2月 7日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	スポーツを通じて支援することによってより高度な療育を行うことができる	利用者がやりたいと思ったことを積極的に取り入れ楽しむことを大切に療育としている	機械等を用いてより運動がしやすい環境を整備できたらな と思っている
2	運動と療育の二つの側面から支援できるので幅広く利用していただける	楽しく体を大きく動かしてもらえようメニューをたくさん用意している	床材を柔らかいものにできたらより安全に支援が行える
3	運動療育の専門的知識を持ったスタッフが常駐している	粗大運動でも特に関節の動きを見て評価しています	今のところ利用者にはかなり充実されたものと評価をいただ いています

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	小学生までの年齢の運動に特化していること	中学生以上の運動になるとより専門的な知識が必要であるがそ こまでの実力はない	講習などの職員に対する勉強会の充実を図る
2	運動に力を入れている分他の領域には弱い	ある程度の運動は可能だが施設の広さにより制限がある	移転を含めてより広い環境の確保
3	うちの施設はあまり弱みがないという慢心	地域性の関係がイベント等の催しには背景的に参加していない	今のところ必要とされてはいないが各所への催し物等の参加

事業所名		ひよこすぼーつ塾						公表日		令和7年3月24日	
		利用児童数				17		回収数		16	
		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応			
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	14			2	十分にスペースが確保されていて、のびのび動き回れています				
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	15			1	不満等ありません				
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	13	1		2	報告で見ている限りのびのび活動しているように思っている				
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	13			2	とても綺麗でわかりやすい。切り替えしやすい環境 だと思う。				
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	15			1	特性を理解したプログラムを考えられている				
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	14	1		1					
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	14	1		1					
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	11	2		3					
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	15			1					
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	15			1	色々な運動をしている。				
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	7	2	2	5	アドバイスをもらえていて安心				
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	14	1		1					
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	13		1	4					
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	4	3	2	6	SNSで写真やコメントを頂けるので様子がよくわかり助かっています。	これからもSNS等で出来るだけわかりやすく報告等発信していきたいと思います			
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	16				SNSで写真やコメントを頂けるので様子がよくわかり助かっています。	これからもSNS等で出来るだけわかりやすく報告等発信していきたいと思います			
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	13	2	1		よく相談ののってもらって助かっています。	適切に助言等できるようにしていきます。			
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	15			1					
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいの支援がされていますか。	5	2	5	4	特に不要	希望が多ければ、開催しようと思う			
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	12	2		2	時間変更等、すぐに対応していただいている。	SNSを使用しているので、迅速に対応できる。			

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	15			1	毎回SNS等で連絡いただけるので助かっています。	SNS等で個別に連絡しています。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	12	1	1	2	SNS等でママに連絡の機会があるので、伝え合っています。	
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	14	1		1		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	10	1	1	4		月に一度避難訓練をしている
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	11	2		3	通所時、避難訓練にあたっていない。	月に1度、曜日を変えて実施しているので、もう少しお待ちください。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	10	3		3		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	14			2		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	16					
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	15	1			笑顔で通えている	
	29	事業所の支援に満足していますか。	16				とても満足している	

事業所名	ひよこすぼ一つ塾		公表日		令和7年3月24日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	9		時間を分け調整している	利用者が重なる時間帯はスペースが狭く感じる時はある
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	8	1		欠勤があっても、十分に支援ができる体制が整えられている
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	9		児童にわかるようにポスターやラベルを貼っている	トイレ前に段があり少し高いステップを置いて調整している
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	9		毎日清掃と消毒を十分行っている	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7	2	個別空間はないが間仕切り等で区切っている	完全に個別の場所はない
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	7			全員ではないので、今後も理解を深めていく
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9			3か月ごとに、アンケート取りそれを参考にし、業務改善に繋げている
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8		毎日意見を交換し職員全員に情報共有している	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5	4		行っていないので今後検討する
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	9		法人内研修実施 外部の研修についても積極的に案内している	
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8	1	作成している	近々公表する予定
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	8		日々の活動を保護者に報告し要望を元に作成している	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8		職員の日々の報告を元に個別でも利用者の様子を聞き取り話し合いを行っている	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7	1	職員全員にSNS等で共有されている	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8	1	職員全員にSNS等で共有されている	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8		スポーツに特化した支援を行っている	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	2	2人以上のチームで行っている チームだけでなく全員でも情報共有している	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8		アンケート、SNS等を使い保護者から聞き取りをして、利用者の状況を見て考えている	

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7		個別、集団を適宜組み合わせている	目的、用途によって部屋を分けられていて、利用者が集中できる環境を整えている
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	3	利用者の背景を考慮し職員の役割分担や支援内容を決めている	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7	2	気づいたこと等SNS等で迅速に職員全体で共有できるようにしている 必要な場合は会議等適宜行っている	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	9		毎日利用記録の記入をし適宜会議等行っている	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	9		毎日の活動報告から保護者への聞き取りや三か月ごとにアンケートや面談を行っている	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	8	1	スポーツを軸に4つの基本活動を全て行えるよう支援している	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	9		まずは自分で取り組めるよう工夫して支援している	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	1		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	9		トラブル等の情報共有を行っている	年間行事等の連絡は学校からあるわけではないのでこちらで調べている 個人情報の問題があり難しいとのこと
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	6	1	相談支援から情報共有している	個人情報の問題があり保育所、幼稚園等との直接のやり取りは難しい
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5	1	相談支援、家族等を通じて共有している	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	7		協議会の参加等行っている	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	5	2		家族の意向等あり交流の機会はない
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	2	4	参加している	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8		SNS等を用い活動報告を通じて共通理解を持っている	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6	2	心理士のペアトレ等行っている	あまり利用希望がない
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8		見学时や面談時に行っている 問い合わせ等にも対応している	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8		見学时、面談時等、定期的なアンケートやSNS等で聞き取りを行っている	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	8		面談時等行っている	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8		見学时、面談時等、定期的なアンケートやSNS等で聞き取りを行っている	

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	4	3		利用希望がないので行っていない
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8		見学时、面談時等、定期的なアンケートやSNS等で聞き取りを行っている	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	6	1	見学时、面談時等、定期的なアンケートやSNS等で聞き取りを行っている	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	9		氏名を使わない等留意している	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	9		個々に合わせた方法を用い配慮している	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	5	招待することはない 地域の行事等には参加している	利用者には開かれた施設にして欲しくないと要望がある
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7	1	マニュアル等策定し、月に一度程度避難訓練 防災訓練等を行っている	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7		避難訓練等を行っている	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	8		見学时、面談時等聞き取りを行っている 必要であれば薬等を置いておくようにしている	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7	1	見学时、面談時等聞き取りを行っている 基本的に食事を提供していない	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7		定期的に研修を行い、安全を配慮している	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7		見学时、面談時等、定期的なアンケートやSNS等で聞き取りを行い連携している	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8		報告ノートを作成し、その他SNS等で共有している	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	9		毎年研修をしている	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6		身体拘束を行っていない		

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ひよこすぼーつ塾		
○保護者評価実施期間	令和7年 1月 4日		～ 令和7年 1月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	15	(回答者数) 15
○従業者評価実施期間	令和7年 1月 4日		～ 令和7年 1月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数) 9
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 2月 7日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	スポーツを通じて支援することによってより高度な療育を行うことができる	利用者がやりたいと思ったことを積極的に取り入れ楽しむことを大切に療育としている	機械等を用いてより運動がしやすい環境を整備できたらなと思っている
2	運動と療育の二つの側面から支援できるので幅広く利用していただける	楽しく体を大きく動かしてもらえるようメニューをたくさん用意している	床材を柔らかいものにできたらより安全に支援が行える
3	運動療育の専門的知識を持ったスタッフが常駐している	粗大運動でも特に関節の動きを見て評価しています	今のところ利用者にはかなり充実されたものと評価をいただいています

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	小学生までの年齢の運動に特化していること	中学生以上の運動になるとより専門的な知識が必要であるがそこまでの実力はない	講習などの職員に対する勉強会の充実を図る
2	運動に力を入れている分他の領域には弱い	ある程度の運動は可能だが施設の広さにより制限がある	移転を含めてより広い環境の確保
3	うちの施設はあまり弱みがないという慢心	地域性の関係がイベント等の催しには背景的に参加していない	今のところ必要とされてはいないが各所への催し物等の参加

事業所名	ひよこすぼーつ塾						公表日	令和7年3月24日	
						利用児童数	15		
							回収数	15	
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応		
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	13	1		1	十分にスペースが確保されていて、のびのび動き回れています		
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	14			1	不満等ありません		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	12			3	報告で見ている限りのびのび活動しているように思っている		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	13			2	とても綺麗でわかりやすい。切り替えしやすい環境 だと思う。		
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	15				特性を理解したプログラムを考えられている		
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	15						
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	14	1					
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	14			1			
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	15						
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	14			1	色々な運動をしている。		
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	13		1	6	アドバイスをもらえていて安心		
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	13	2					
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	12	1	1	1			
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	3	1	3	8	SNSで写真やコメントを頂けるので様子がよくわかり助かっています。	これからもSNS等で出来るだけわかりやすく報告等発信していきたいと思います	
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。	15				SNSで写真やコメントを頂けるので様子がよくわかり助かっています。	これからもSNS等で出来るだけわかりやすく報告等発信していきたいと思います	
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	12	1	2		よく相談ののってもらって助かっています。	適切に助言等できるようにしていきます。	
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	15						
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	3	2	3	7	特に不要	希望が多ければ、開催しようと思う	
19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	13	1		1	時間変更等、すぐに対応していただいている。	SNSを使用しているので、迅速に対応できる。		

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	15				毎回SNS等で連絡いただけるので助かっています。	SNS等で個別に連絡しています。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	12	1	1	1	SNS等でママに連絡の機会があるので、伝え合っています。	
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	14					
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	11		1	3		月に一度避難訓練をしている
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	5			10	通所時、避難訓練にあたっていない。	月に1度、曜日を変えて実施しているので、もう少しお待ちください。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	12		1	2		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	15					
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	15					
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	15				笑顔で通えている	
	29	事業所の支援に満足していますか。	15				とても満足している	

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	ひよこすぼーつ塾		公表日		令和7年3月24日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	9		時間を分け調整している	利用者が重なる時間帯はスペースが狭く感じる時はある
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	8	1		欠勤があっても、十分に支援ができる体制が整えられている
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	9		児童にわかるようにポスターやラベルを貼っている	トイレ前に段があり少し高いステップを置いて調整している
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	9		毎日清掃と消毒を十分行っている	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7	2	個別空間はないが間仕切り等で区切っている	完全に個別の場所はない
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	7	1		全員ではないので、今後も理解を深めていく
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9			3か月ごとに、アンケート取りそれを参考にし、業務改善に繋げている
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9		毎日意見を交換し職員全員に情報共有している	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5	3		行っていないので今後検討する
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	9		法人内研修実施 外部の研修についても積極的に案内している	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	9		作成している	近々公表する予定
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	8		日々の活動を保護者に報告し要望を元に作成している	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8	1	職員の日々の報告を元に個別でも利用者の様子を聞き取り話し合いを行っている	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8	1	職員全員にSNS等で共有されている	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	9		職員全員にSNS等で共有されている	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8		スポーツに特化した支援を行っている	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	2	2人以上のチームで行っている チーム間だけでなく全員でも情報共有している	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	9		アンケート、SNS等を使い保護者から聞き取りをして、利用者の状況を見て考えている	

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	8		個別、集団を適宜組み合わせている	目的、用途によって部屋を分けられていて、利用者が集中できる環境を整えている
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4	3	利用者の背景を考慮し職員の役割分担や支援内容を決めている	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7	2	気づいたこと等SNS等で迅速に職員全体で共有できるようにしている 必要な場合は会議等適宜行っている	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	9		毎日利用記録の記入をし適宜会議等行っている	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8		毎日の活動報告から保護者への聞き取りや三か月ごとにアンケートや面談を行っている	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7		相談支援と連携し担当スタッフが参加している	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	1	保育園学校等保護者を通して連携できている	医療とは連携できていない
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7		保護者の希望がないこともあるが包括的にはできていない 保育園学校等保護者を通して連携できている	保護者の希望がないこともあるが包括的にはできていない 保育園学校等保護者を通して連携できている
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6	1	保育園学校等保護者を通して連携できている	保育園学校等保護者を通して連携できている
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	5			センターとの連携はできていない
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	5	1	利用者の希望がない	利用者の希望がない できるだけ知られたくないことが多い
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	9		SNS等を用い活動報告を通じて共通理解を持っている	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	1	心理士のペアトレ等行っている	あまり利用希望がない	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7		見学時や面談時に行っている 問い合わせ等にも対応している	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点から踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7		見学時、面談時等、定期的なアンケートやSNS等で聞き取りを行っている	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	7		面談時等行っている	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	9		見学時、面談時等、定期的なアンケートやSNS等で聞き取りを行っている	

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	4	2		利用希望がないので行っていない
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	9		見学时、面談時等、定期的なアンケートやSNS等で聞き取りを行っている	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	6	1	見学时、面談時等、定期的なアンケートやSNS等で聞き取りを行っている	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	9		氏名を使わない等留意している	
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8		個々に合わせた方法を用い配慮している	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	4	招待することはない 地域の行事等には参加している	利用者には開かれた施設にして欲しくないと要望がある
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7		マニュアル等策定し、月に一度程度避難訓練 防災訓練等を行っている	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7		避難訓練等行っている	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	7		見学时、面談時等聞き取りを行っている 必要であれば薬等を置いておくようにしている	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7	1	見学时、面談時等聞き取りを行っている 基本的に食事を提供していない	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7		定期的に研修を行い、安全を配慮している	
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6		見学时、面談時等、定期的なアンケートやSNS等で聞き取りを行い連携している	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8		報告ノートを作成し、その他SNS等で共有している	
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	9		毎年研修をしている		
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	6		身体拘束を行っていない		